



つじどう小だより

2025年6月5日

藤沢市立辻堂小学校

校長 納富 崇典

言語能力の育成

5月には、多くの子どもたちが校長室を訪れました。特に4年生は国語で「聞き取りメモのくふう」という単元を学習しており、インタビューしにやってきました。「大事なところを落とさず聞く」ことがねらいのようです。4人ほどで入ってきて、席に座ると「はじめて入ったわ」、「なんかきんちょうする」と言いながらも笑顔です。ノートを開くとえんぴつをもって、質問が始まります。「小学生の時に、どんな遊びをしていましたか。」、「子どもの時の失敗談を教えてください。」と真剣な眼差しです。私は、キーワードにしぼってメモがとれるか心配でしたが、あえて長めに話すようにしました。「子どもの時にテレビゲームのようなものは、はやってなかったので、駄菓子屋に行き、コマやビー玉を買って公園に行き遊ぶことが多かった。」と話す中、沈黙の中えんぴつの音だけが響きます。しばらくして、メモすることが終わると「駄菓子屋にコマ売っていたんだ」「駄菓子やいいなあ」と思い思いの感想を述べ、しばらく遊びについての対話となりました。帰りにノートを見ると、すべてを書こうとした子、キーワードを意識している子と分かれていました。その後は教室にもどり、「メモ」の取り方について、振り返りをしたと聞いています。とても楽しいひとときでした。



これから社会見学などで、学習で身に付けた「聞くこと」や「話すこと」の知識や技能を試していく機会があります。これはある意味、学習したことが社会で通用するか試す場面でもあります。体験は楽しいけれど、活動あつて学び無しにならないよう、今回課題となったことを改め、メモをとる技能を発揮してほしいと思います。今月は6年生が国語の学習で校長室に来室すると聞いています。事前に学習内容を把握し、こちらも色々と試してみたいと思っています。

ちなみに、わたしの失敗談は、4年生の頃、ランドセルを校庭に忘れて帰ってしまったことです。翌朝気づき、走って学校にいくと、さびしそうに黒いランドセルが校庭のすみに横たわっていました。せつない気持ちになったことを覚えています。

自分の記録に挑戦した体育大会(6年生)

5月29日(木)県立スポーツセンターで、第55回の藤沢市小特別支援学校体育大会が開催されました。この大会には全員が陸上の個人種目1つとリレー等の団体種目1つに出場します。この1ヶ月ほど、練習に取り組んできました。オリンピックである藤崎直哉選手(デュアスロン)からは走り方を、日本選手権に出場している宮田風選手(走り高跳び)からは高跳びとバトンパスについて学ぶ機会もありました。本番では、辻堂小約220人の大応援団からの声援が競技場に響くなか、自己ベストを出した子が多数いました。また、団体種目では「大縄跳び」で280回という大会新記録をマークし、大会を盛り上げました。1度も縄に引っかからずリズムカルに跳ぶ姿は感動的でした。応援で仲間を支えることや競技を観て楽しむことを感じる1日となりました。

